

# 秋のまつり



## 第28回幸手市民まつり

10月28日(土)に、県営権現堂公園2号公園(ハッピー公園)において幸手市民まつりが開催されました。

当日は、メインステージ・セカンドステージでの各種団体のパフォーマンスや、所狭しと並んだ模擬店などで、多くの人でにぎわっていました。

まつりの最後には花火があがり、幸手の夜空を彩っていました。



## 第41回幸手市健康福祉まつり

11月5日(日)に、ウェルス幸手において市内ボランティアグループや各種団体、医療関係機関などの協力のもと、幸手市健康福祉まつりが開催されました。

当日は、各種団体のパフォーマンスや展示による活動紹介、健康に関する相談や測定、子ども用品とりかえっこや点字・手話の体験など、楽しい内容が盛りだくさんで、多くの人でにぎわっていました。



## 第62回幸手市文化祭

11月4日(土)、5日(日)に、アスカル幸手において幸手市文化祭が開催されました。

さくらホールでは各種団体の発表があり、日ごろの練習の成果を発揮し観客を楽しませていました。

また、メインアリーナなどでは、作品展示と催し物が開催され、来場者は作品を見たり、普段できない体験をしていました。



# 事前の準備で災害に備え 命を守る

## 幸手市防災訓練

10月21日(土)に、災害に対する住民意識の高揚や地域防災力の向上を図るため、「自主防災」をテーマに幸手小学校にて幸手市防災訓練を実施しました。

訓練内容は避難所開設訓練や、負傷者救護訓練、災害ボランティアセンター運営訓練、その他災害協定締結団体などが体験コーナーを出展しました。

訓練参加者は「災害を身近に感じることができた」「普段から災害対策をしておくことの大切さが分かった」などと話してくれました。

▼煙体験



▼負傷者救護訓練



▼応急救護訓練



▼消防団消火訓練



## 幸手市消防特別点検

11月3日(金・祝)に、消防特別点検を実施しました。消防特別点検では、消防団員の人員、姿勢、服装、訓練、礼式、機械器具および装備などについて、いつ起こるかわからない災害に対し、迅速に対応できる準備ができているかを点検します。

この日は、適切に整備されている車両や資機材、また、日ごろの訓練の成果を市民や来賓へ披露しました。さらに、火災多発時期に備え、11月12日(日)には中川河川敷にて放水訓練を行いました。



## はしご車架梯訓練

埼玉東部消防組合では、市民が安心して生活を送れるよう、過去の事例や起こりうる事故などを想定して日々訓練を行っています。

11月7日(火)・8日(水)は、市内を通る首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の工事に伴う通行止めに合わせてはしご車架梯訓練を行いました。

左写真の訓練は圏央道に取り残された要救助者を救助する訓練の様子です。夜間に行われ、緊迫感がある中、指揮隊、はしご隊、救助隊、消防隊が連携し、迅速に要救助者を救助していました。

